



デジタルボイスファイル設定ソフトウェア

(デジタルボイスファイル PA-DR600 設定用)

型名 **PA-ZS600R** 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品の操作方法を説明しています。
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご注意：

- このソフトウェアを使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声をデジタルボイスファイル PA-DR600 でご利用いただくことができますが、第三者の著作物等をご利用になる場合には、著作権法等、その他法規にもとづいて、お客様の責任で権利者の許諾を得ていただく必要があります。

もくじ

はじめに

もくじ	2
こんなことができます	3
ソフトウェア使用許諾契約書	4

準備

動作環境	5
システム接続	5
アプリケーションソフトのインストール	6
USB ドライバーのインストール	6
PA-ZS600R のインストール	6
アプリケーションの概要	7
プロジェクトを作成する	8

本体の設定

本体の設定	9
① システム動作設定	10
② 制御出力設定	11
③ 音声出力設定	11
④ 制御入力設定	12
⑤ 機能キー設定	13

データ編集

データ編集	14
プレイリストの編集	14
データの取り込み / 書き込み	16
音声ファイルの加工・編集	18
CM ファイルの登録	20

本体の設定その他の設定

オプションの設定	22
----------------	----

外部制御

パソコンによる PA-DR600 本体の制御	23
------------------------------	----

その他

プレイリストプレイヤーについて	25
こんなときは	26

こんなことができます

"デジタルボイスファイル設定ソフトウェア [PA-ZS600R]" は、デジタルボイスファイル PA-DR600 (以下 PA-DR600) のシステム設定、プレイリスト・メッセージの編集および音声ファイルの加工・編集を行うための支援アプリケーションです。

PA-DR600 本体に関する設定

PA-DR600 本体の各種設定項目をパソコン画面上から登録することが可能です。

プレイリスト・メッセージの編集

音声ファイルからメッセージおよびプレイリストの編集ができ、本体に転送することが可能です。

音声ファイルの加工・編集

PA-DR600 本体で録音した音声ファイルやパソコンで作成した音声ファイルのサンプリング周波数やゲイン等の加工・編集ができます。

CM ファイルの PA-DR600 本体への登録

PA-DR600 本体に CM ファイルの登録ができます。


パソコンから PA-DR600 本体を制御する

パソコンから PA-DR600 本体を制御とエラーログの確認ができます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
- メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

-  : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

PA-ZS600Rをインストールする前に、必ずお読みください。

株式会社JVCケンウッド・公共産業システム（以下「弊社」といいます）は、お客様に提供された“デジタルボイスファイル設定ソフトウェア [PA-ZS600R]”（以下、「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

権利の許諾

1. お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、お客様の業務に必要な範囲内において、本製品を設置するお客様の施設（店舗、本・支店や教育施設等）内のパソコンに搭載されたHDDその他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。
2. お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

制限事項

1. お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。
2. お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
3. お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。
4. お客様は、お客様自らだけでなく、お客様の役員・従業員・教員または第三者にも上記(1)から(3)で禁止されている行為をさせてはなりません。

限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、結果的、付随的あるいは懲罰的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

契約事項

- * 本契約は、お客様が本ソフトをお客様のハードウェアに最初にインストールされた日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。
- * お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らかの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときは、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトを破棄（お客様のパソコンサーバー上のメモリーからの消去を含みます）するものとします。

輸出管理

お客様は、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を日本ならびにその他の関係国が出荷等を禁止ないし制限している国に出荷、移転または輸出しないことに同意します。

その他

1. 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
2. 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
3. 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

動作環境

使用可能なパソコンの仕様

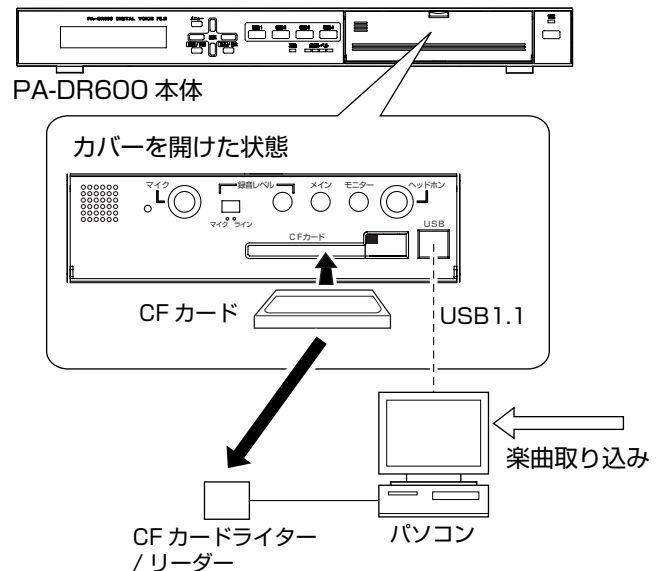
OS	: Windows 7 Home Premium Service Pack 1 Windows 7 Professional Service Pack 1 Windows 8.1 Update Windows 8.1 Pro Update Windows 10 Home Windows 10 Pro
	※ 各 OS は日本語版のみの対応です。 また、32/64 ビットの両方に対応 しています。
CPU、メモリ	: 各 OS のシステム要件を満たすこと
ディスプレイ	: 1024 × 768 ドット以上
HDD	: アプリケーションのインストールに 50 MB 以上の空き容量が必要
インターフェース	: USB 準拠のシリアルインターフェー ス

メモ:

- コントロールパネルのデスクトップのカスタマイズのディスプレイの設定、または、設定のディスプレイのカスタマイズの設定で、テキストやその他の項目のサイズの拡大率が大きくなっている場合は、設定ソフトウェアの項目が画面に収まらなくなることがあります。その場合は、設定ソフトウェアの項目が画面に収まるように、拡大率を下げてください。
- パソコンの仕様は、アプリケーションを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

システム接続

下記のように、PA-DR600 本体とパソコンを接続し、プレイリストの作成などを行います。



メモ:

- 「CMファイルの登録」(P.20 ページ)でCMファイルを登録する場合は、CF カード (デジタルメモリーカード) を CF カードライター / リーダーに接続する必要があります。
- PA-DR600 本体で設定したデータをパソコンに取り込んだり、パソコンで設定したデータ (システム設定、スケジュール設定) を CF カードに書き込む場合は、下記の 2 種類の方法で行うことができます。
 - CF カードを PA-DR600 本体に挿入した状態で、パソコンと PA-DR600 本体を USB で接続する。
 - CF カードを挿入した CF カードライター / リーダーをパソコンに接続し、直接データの取り込み、書き込みを行う。

CF カードについて

- PA-DR600 本体で使用する CF カードは必ず指定品の「デジタルメモリーカード」をお使いください。指定品以外での動作保証はいたしません。
- 指定品: デジタルメモリーカード (サービスパーツ扱い)
品番 T9D-0027-00 (512MB)

アプリケーションソフトのインストール

USB ドライバーのインストール

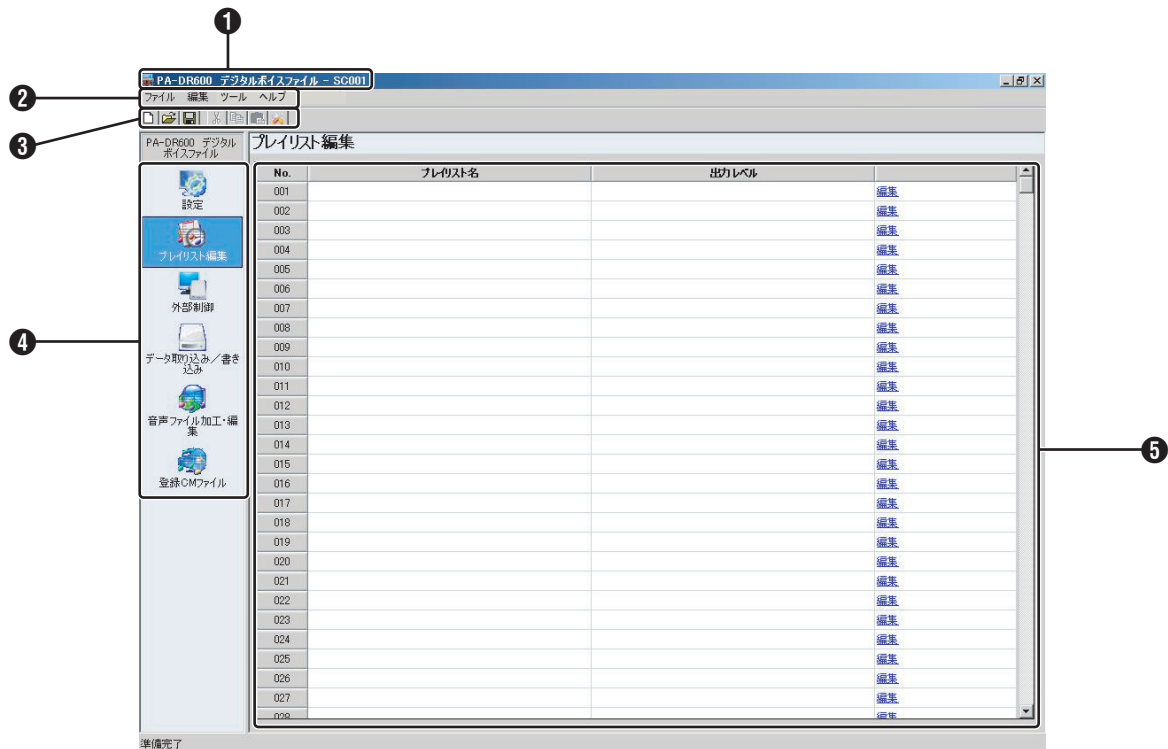
USB ドライバーのインストール方法は、インストールガイドをご覧ください。

PA-ZS600R のインストール

PA-ZS600R のインストール方法およびアンインストール方法は、インストールガイドをご覧ください。

アプリケーションの概要

PA-DR600 本体に関する設定、プレイリストの編集、音声ファイルの加工・編集、登録 CM ファイルの編集、パソコンによる PA-DR600 本体の制御、データの取り込み / 書き込みの6種類です。



① タイトルバー

開いているプロジェクト名が表示されます。

② メニューバー

操作に必要なメニューを表示しています。

③ ツールバー

一部の機能をアイコン表示しています。

④ 登録 / 設定ボタン

● 設定

システム動作の設定、制御出力の設定、音声出力の設定など、PA-DR600 本体に関する設定をする場合にクリックします。
(☞ 10 ページ)

● プレイリスト編集

プレイリストの編集をする場合にクリックします。
(☞ 14 ページ)

● 外部制御

PA-DR600 本体を、パソコンから操作する場合にクリックします。
(☞ 23 ページ)

● データ取り込み / 書き込み

PA-DR600 本体または C F カードライター / リーダーを使用して、PA-DR600 本体で設定したデータをパソコンに取り込んだり、パソコンで設定したデータを CF カードに書き込むことができます。
(☞ 16 ページ)

● 音声ファイル加工・編集

音声データファイルの加工・編集をする場合にクリックします。
(☞ 18 ページ)

● 登録 CM ファイル

PA-DR600 本体に CM ファイルを登録する場合にクリックします。
(☞ 20 ページ)

⑤ 登録 / 設定画面表示エリア

選択した登録 / 設定ボタン ④ のメニュー画面が表示されるエリアです。

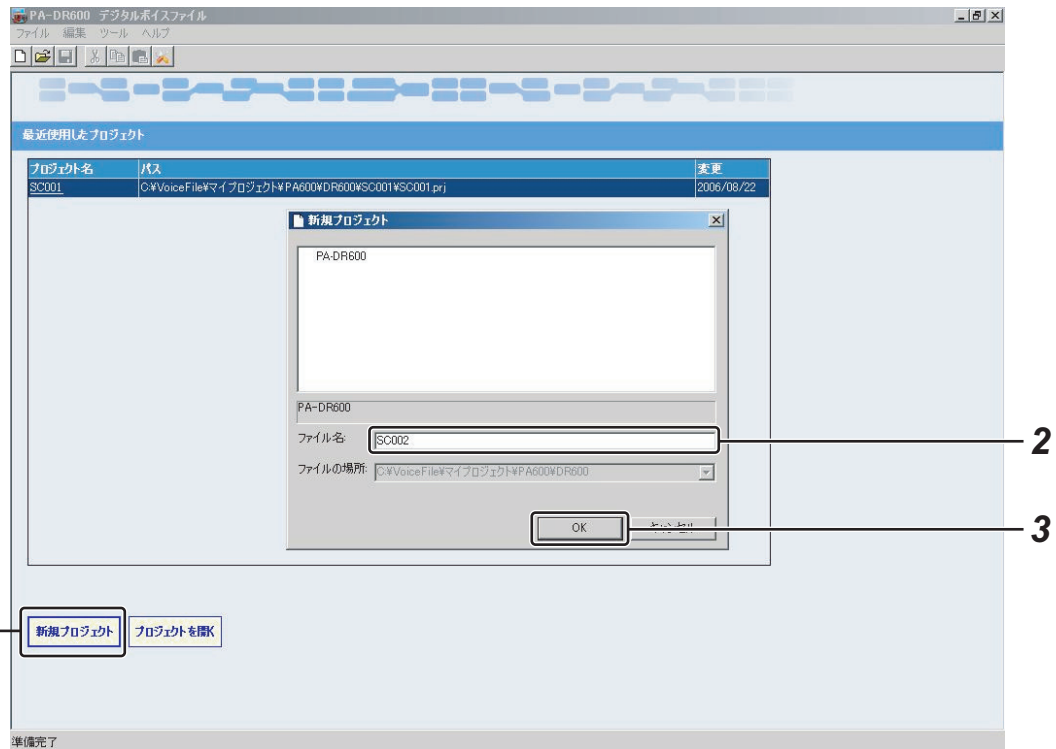
プロジェクトを作成する

下記どちらかの方法で PA-ZS600R を起動し、プロジェクトを作成します。

- デスクトップの [PA-ZS600R] アイコンをクリックする。



- Windows の [スタート] メニュー → [(すべての) プログラム] → [PA-ZS600R] をクリックする。



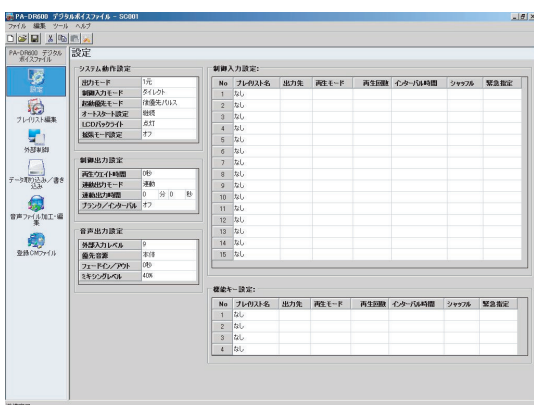
1. [新規プロジェクト] をクリックする

新規プロジェクト画面が表示されます。

2. ファイル名 (プロジェクト) を入力する

3. [OK] をクリックする

ファイル名 (プロジェクト) が決定され、設定画面が表示されます。

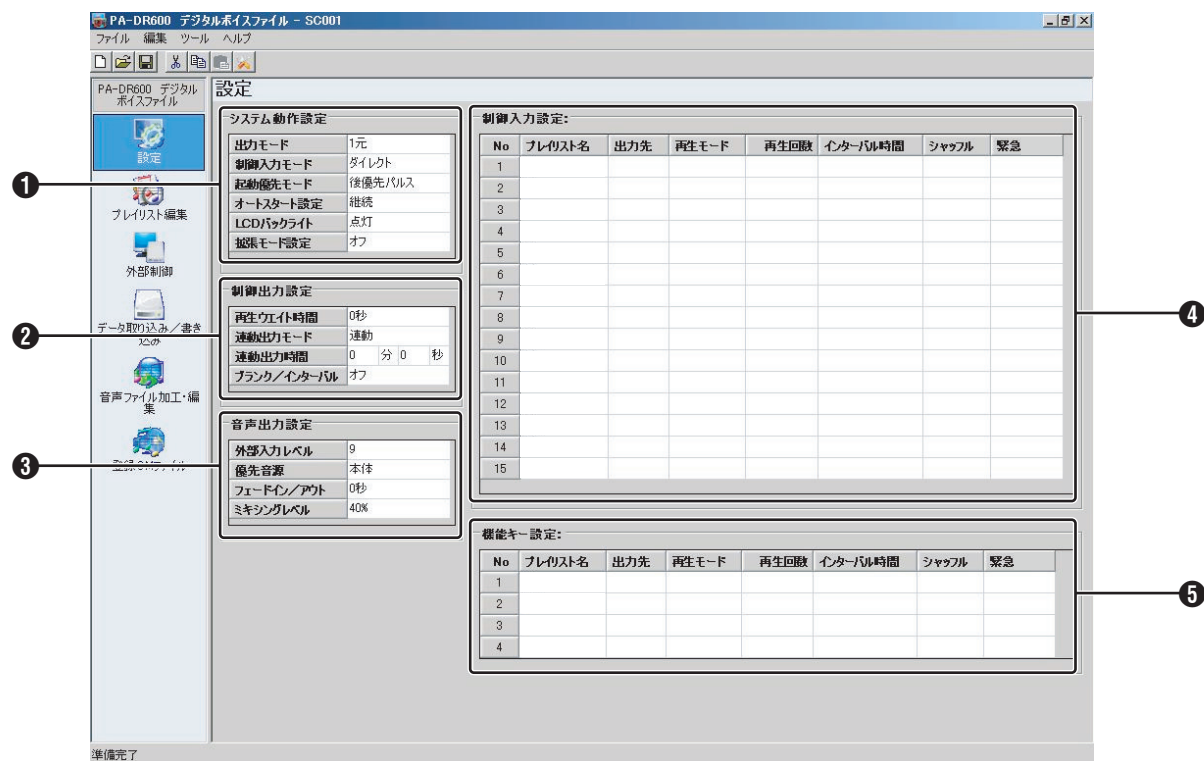


本体の設定

本体のハードウェアに関する設定をパソコンで行うことができます。

設定アイコンをクリックし、必要に応じて下記設定を行なってください。

各設定項目の機能および仕様詳細については、PA-DR600 本体に添付の取扱説明書を参照してください。



① システム動作設定 (10 ページ)

② 制御出力設定 (11 ページ)

③ 音声出力設定 (11 ページ)

④ 制御入力設定 (12 ページ)

⑤ 機能キー設定 (13 ページ)

① システム動作設定

● 出力モード

PA-DR600 本体の音声出力モードを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
[設定値：1 元 / 2 元 / 1 元 4 出力]

メモ:

- 出力モードの変更は、④ 制御入力設定、出力先および ⑤ 機能キー設定、出力先に影響しますので変更後には確認してください。

● 制御入力モード

PA-DR600 本体背面の制御入力端子のモード設定を行いません。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：ダイレクト (制御入力端子 1 つに対して 1 つの動作を割り付けます)
バイナリ (制御入力端子 1 ～ 10 にバイナリ (2 進数) 信号を入力する事により最大 999 個の動作を割り付けます)]

メモ:

- 制御入力モードの変更は、④ 制御入力設定に影響しますので変更後には確認してください。

● 起動優先モード

PA-DR600 本体背面の制御入力端子の優先モードを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：後優先パルス (後から入力された制御信号を優先します。1 回のパルスで 1 回再生します)
先優先パルス (先に入力された制御信号を優先します。1 回のパルスで 1 回再生します)
後優先レベル (後から入力された制御信号を優先します。信号が入力されている間は繰り返し再生します)
先優先レベル (先に入力された制御信号を優先します。信号が入力されている間は繰り返し再生します)
順次記憶 (再生中に制御信号が入力されると、入力された順番を記憶し、順次再生します)]

メモ:

- 順次記憶では再生終了前に繰り返し同じ制御信号が入力されても、再生は 1 回のみです。

● オートスタート設定

電源を入れ直した場合の実行状態を設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：継続 (電源を入れると、自動的に電源を切る前の状態に戻ります。)
実行 (電源を入れると、自動的に実行状態になります。)]

待機

(電源を入れると、待機状態になります。)]

● LCD バックライト

PA-DR600 本体の LCD 画面のバックライトの設定を行います。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：点灯 (常にバックライトを点灯します)
消灯 (常にバックライトを消灯します)
キー連動 (キーを押すと 30 秒間点灯し、その後消灯します)]

メモ:

- 「消灯」に設定した場合でも、下記の状態になるとバックライトが点灯します。
・メインメニュー画面に入ったとき
・パソコンとの通信を開始したとき

● 拡張モード設定

拡張モードのオフ / オンを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
[設定値：オフ / オン]

メモ:

- 拡張モードの使い方については「コココール接続取扱説明書」を別途ご用意しています。
販売店またはシステム営業所にご相談ください。

② 制御出力設定

- 再生ウェイト時間

PA-DR600 本体背面の制御入力から再生までのウェイト（遅延）時間を 1 秒ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
[設定値：0 秒 ～ 99 秒]

- 連動出力モード

PA-DR600 本体背面の連動出力端子のモードを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：連動	(再生終了後に外部機器を制御します)
アンプ電源	(出力モードを 2 元に設定時に 2 元側のファイル再生時にアンプの電源を制御します)
緊急	(緊急指定したプレイリスト再生時に外部機器を制御します)
ビジー	(録音／消去の状態を表示します)

メモ: _____

- 「連動」に設定した場合は「連動出力時間」の設定ができるようになります。

- 連動出力時間

「連動出力モード」を「連動」に設定した場合、連動出力時間を 1 秒ステップで設定します。
[設定値：0 分 0 秒 ～ 60 分 0 秒]

- ブランク / インターバル

④ 制御入力設定 ⑤ インターバル時間設定 (P. 12 ページ) およびプレイリスト編集 ③ ブランク時間設定 (P. 14 ページ) で設定した、ファイルを再生していない時間について、PA-DR600 本体背面アンプ電源端子出力のオフ / オンを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
[設定値：オフ / オン]

メモ: _____

- インターバル時間およびブランク時間が、1 分 40 秒以上に設定されているときに有効になります。1 分 40 秒未満のときは、ファイル再生していない間もアンプ電源端子は出力されます。

③ 音声出力設定

- 外部入力レベル

PA-DR600 本体背面の外部入力端子に接続された音源の出力レベル（音量）を設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
[設定値：0（音量小）～ 9（音量大）]

- 優先音源

優先レベルの高い音源を設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：本体	(本体に設定したプレイリストを優先して再生します)
外部	(本体背面の外部入力端子に接続された音源を優先して再生します)

- フェードイン / アウト

フェードイン / アウトの時間を 1 秒ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
[設定値：0 秒 ～ 10 秒]

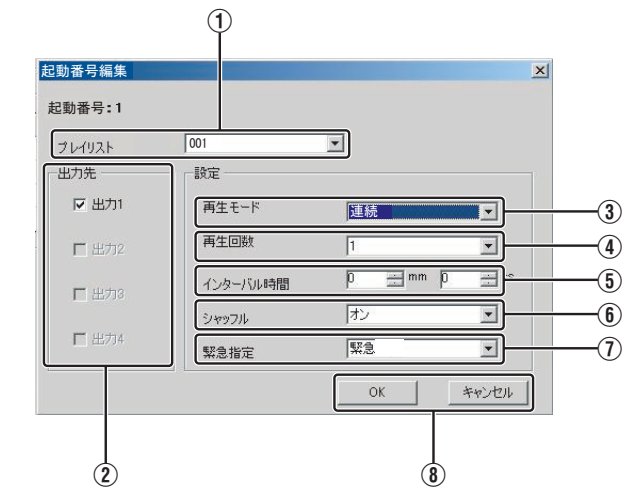
- ミキシングレベル

本体のプレイリスト再生と本体背面の外部入力端子に接続された音源の再生が重なったとき、優先に設定されていない音源のミキシングのレベルを 10% ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
[設定値：0%（無音）～ 100%（そのままのレベル）]

4 制御入力設定

設定したい欄をダブルクリックをすると、起動番号編集画面が表示されます。

- メモ:
- ダブルクリック以外でも以下の方法で表示できます。
 - ・ 右クリックでメニューを表示し「編集 ...」を選択してクリックする。
 - ・ キーボードから Ctrl + M を入力する。



- ① プルダウンメニューからプレイリストNo.を設定します。
[設定値：001 ～ 999]

- メモ:
- ① システム動作設定、起動入力モードの設定により起動番号の設定数が変わります。
ダイレクトモード：No.1 ～ No.15
バイナリモード：No.1 ～ No.999
 - ① システム動作設定、起動入力モードを「ダイレクトモード」に設定している場合、以下の起動番号はプレイリストNo.の他に下記の選択肢があります。
起動番号：11：消去
起動番号：12：録音
起動番号：14：ストップ（2元出力用）
起動番号：15：ストップ（1元出力用）

- ② 出力先を設定します。設定値は ① システム動作設定、出力モードによって下記のようにになります。

出力モード	設定値
1 元	出力 1 オン固定 出力 2 ～ 4 設定不可
2 元	出力 1 または出力 2 どちらかをオン 出力 3、4 設定不可
1 元 4 出力	出力 1 ～ 4 それぞれをオン／オフに設定

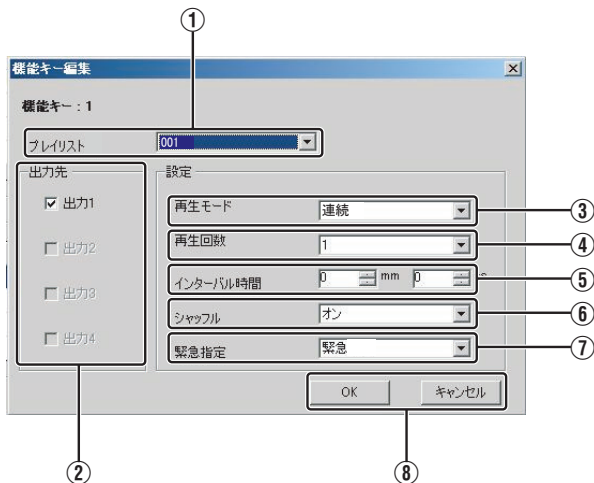
- ③ プルダウンメニューから再生モードを設定します。
[設定値：連続／単独]
- ④ プルダウンメニューから再生回数を設定します。
(③ で単独を選択した場合は設定できません)
[設定値：エンドレス／1 ～ 99]
- ⑤ インターバル時間を 10 秒ステップで設定します。
(③ で単独を選択した場合は設定できません)
[設定値：0 分 0 秒 ～ 99 分 0 秒]
- ⑥ プルダウンメニューからシャッフルのオン／オフを設定します。
[設定値：オン／オフ]
- ⑦ プルダウンメニューから緊急指定を設定します。
[設定値：緊急／通常]
- ⑧ 設定が終了したら [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、起動番号編集画面が閉じます。

⑤ 機能キー設定

設定したい欄をダブルクリックをすると、機能キー編集画面が表示されます。

メモ:

- ダブルクリック以外でも以下の方法で表示できます。
 - ・ 右クリックでメニューを表示し「編集 ...」を選択してクリックする。
 - ・ キーボードから Ctrl + M を入力する。



① プルダウンメニューからプレイリストNo.を設定します。

[設定値：001 ～ 999]

② 出力先を設定します。設定値は ① システム動作設定、出力モードによって下記のようになります。

出力モード	設定値
1 元	出力 1 オン固定 出力 2 ～ 4 設定不可
2 元	出力 1 または出力 2 どちらかをオン 出力 3、4 設定不可
1 元 4 出力	出力 1 ～ 4 それぞれをオン／オフに設定

③ プルダウンメニューから再生モードを設定します。

[設定値：連続／単独]

④ プルダウンメニューから再生回数を設定します。

(③ で単独を選択した場合は設定できません)

[設定値：エンドレス／1 ～ 99]

⑤ インターバル時間を 10 秒ステップで設定します。

[設定値：0 分 0 秒 ～ 99 分 0 秒]

⑥ プルダウンメニューからシャッフルのオン／オフを設定します。

[設定値：オン／オフ]

⑦ プルダウンメニューから緊急指定を設定します。

[設定値：緊急／通常]

⑧ 設定が終了したら [OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、機能キー編集画面が閉じます。

■ 制御入力設定、機能キー設定をコピーする

設定画面で、制御入力設定、機能キー設定をコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です

1. コピーする欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

2. [コピー] をクリックする

制御入力設定:

No	プレイリスト名	出力先	再生モード	再生回数	インターバル時間	シャッフル	緊急
1	001	出力1	連続	1	00分 00秒	オフ	通常
2	002	出力2	単独			オフ	緊急
3	007	出力3	連続	1	00分 30秒	オフ	通常
4	008	出力4	連続	5	00分 00秒	オン	通常
5							

3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

4. [貼り付け] を選択する

プレイリストがコピーされます。

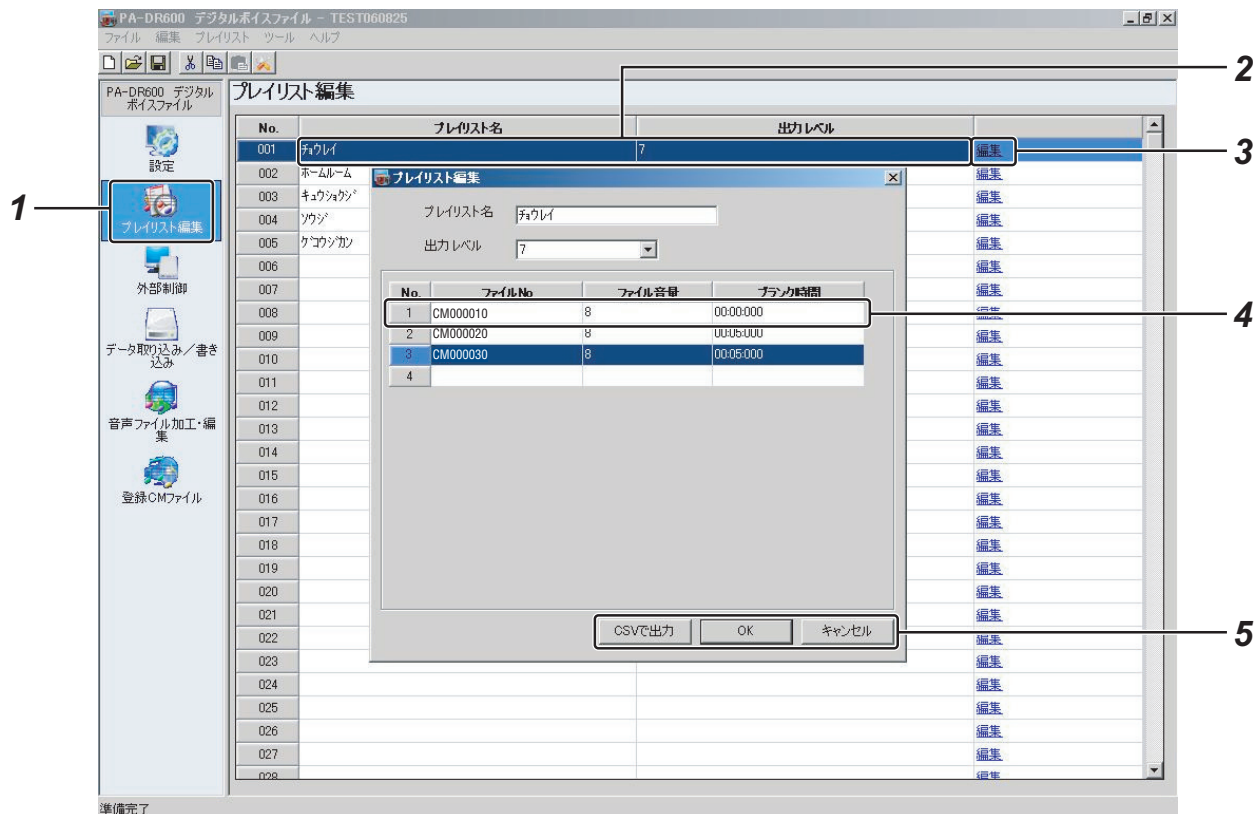
制御入力設定:

No	プレイリスト名	出力先	再生モード	再生回数	インターバル時間	シャッフル	緊急
1	001	1	連続		1 00分 00秒	オフ	通常
2	002	1	単独			オフ	緊急
3	007	1	連続	1	00分 30秒	オフ	通常
4	008	1	連続	5	00分 00秒	オン	通常
5							
6							
7							
8							
9							

データ編集

プレイリストの編集

音声ファイルをプレイリストに登録することにより、複数のメッセージを組み合わせることで放送をすることができます。
(プレイリストは最大 999 個作成でき、各プレイリストに登録できるメッセージの数は最大 100 です。)



1. プレイリスト編集アイコンをクリック

プレイリスト編集画面が表示されます。

2. [プレイリスト名] / [出力レベル] の欄をダブルクリックし、入力する。

プレイリスト名を入力します。

プレイリスト名の例：ラジオタイソウ、チョウレイ、ホームルーム

メモ：_____

- プレイリスト名に使用できる文字は半角のみで、カタカナ、アルファベット、数字、スペースおよび下記の記号です。
^ # \$ % & () - _ { } !
- プレイリスト名の長さは 8 文字までです。

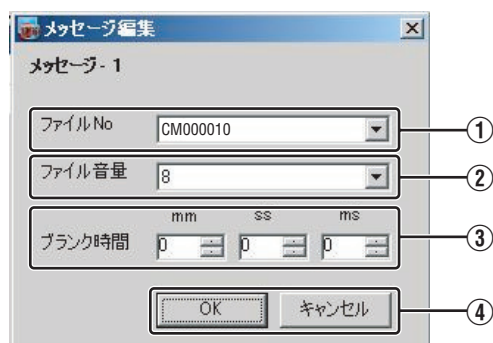
3. [編集] をクリックする

プレイリスト編集画面が表示されます。

出力レベルはプルダウンメニューで選択してください。
[設定値：0 ～ 9]

4. メッセージを編集する

メッセージ欄をダブルクリックすると、メッセージ編集画面が表示されます。



① ファイル No. を設定する

再生したいファイル No. をプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：CM000010 ～ CM009990]

メモ:

- 本アプリケーションと PA-DR600 本体での設定 (PA-DR600 取扱説明書 59 ページ) では、この設定値は以下の関係となっています。

本アプリケーション	PA-DR600 本体
CM 000010	F001
}	}
CM 009990	F999

② ファイル音量を設定する

ファイルの再生音量をプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：0 (音量小) ～ 10 (音量大)]

③ ブランク時間を設定する

ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク時間 (間隔) を設定します。0.5 秒ステップで設定できます。

[設定値：0 分 0 秒 0 ～ 99 分 0 秒 0]

④ 設定が終了したら [OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、メッセージ編集画面が閉じます。

5. すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

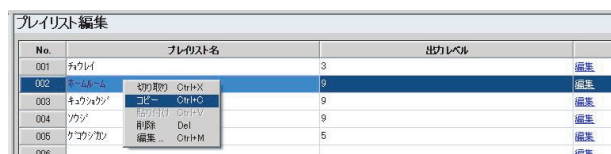
■ プレイリストをコピーする

プレイリスト編集画面で、プレイリストをコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です。

1. コピーする欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

2. [コピー] をクリックする



3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

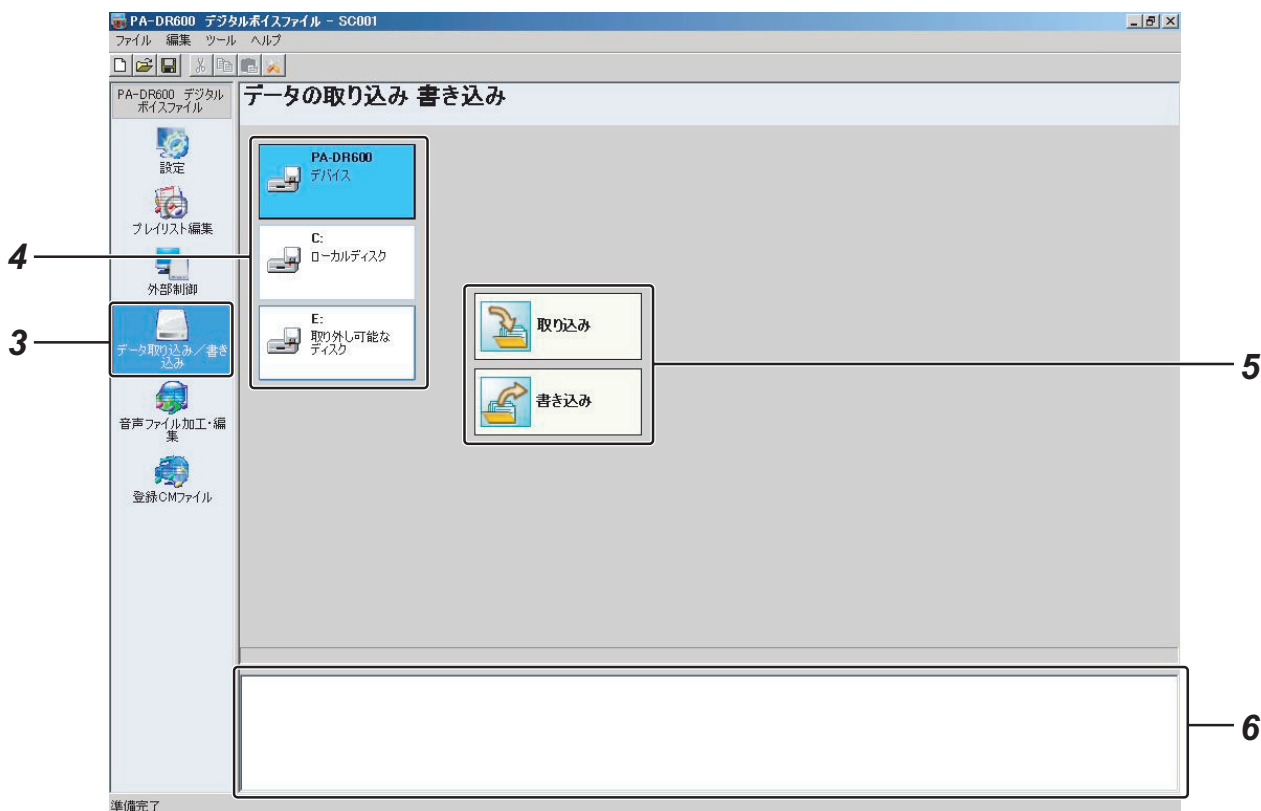
4. [貼り付け] を選択する

プレイリストがコピーされます。



データの取り込み / 書き込み

PA-DR600 本体または CF カードライター／リーダーを使用して、PA-DR600 本体で設定したプレイリストなどのデータをパソコンに取り込んで編集したり、本アプリケーションで設定したプレイリストなどのデータを CF カードに書き込むことができます



■ PA-DR600 本体を使用した場合

1. パソコンとPA-DR600本体をUSBケーブルで接続する (5 ページ)

2 PA-DR600 本体の LCD 画面が [タイキチュウ] (待機中) になっていることを確認する

ご注意:

- PA-DR600 本体の LCD 画面が [タイキチュウ] になっていないと、パソコンとの通信はできません。

3. [データの取り込み / 書き込み] アイコンをクリックする

データ取り込み / 書き込み画面が表示されます。

ご注意:

- データの取り込みを行うと、パソコン側で編集中のプレイリストなど、プロジェクトのデータがすべて上書きされます。
- データの書き込みを行うと、PA-DR600 本体の CF カードにあるプレイリストなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行なってください。
- データの取り込み、書き込みでは、音声ファイルの取り込み、書き込みはできません。

4. [PA-DR600 デバイス] をクリックする

5. [取り込み] もしくは [書き込み] をクリックする

PA-DR600 本体の CF カードからプレイリストなどのデータを取り込む場合は [取り込み]、設定したスケジュールなどのデータを本体に書き込む場合は [書き込み] をそれぞれクリックします。

6. [取り込み] もしくは [書き込み] の完了

取り込みが完了するとメッセージウインドウに「インポートに成功しました。」と表示されます。

書き込みが完了するとメッセージウインドウに「エクスポートに成功しました。」と表示されます。

メモ:

取り込み、書き込みには約 30 秒から数分かかります。

■ CF カードライター / リーダーを使用した場合

1. CF カードを挿入した CF カードライター / リーダーをパソコンに接続する

2. パソコンの [マイコンピュータ] など、CF カードが認識されていることを確認する

3. [データの取り込み / 書き込み] アイコンをクリックする

データ取り込み / 書き込み画面が表示されます。

ご注意:

- データの取り込みを行うと、パソコン側で編集集中のプレイリストなど、プロジェクトのデータがすべて上書きされます。
- データの書き込みを行うと、CF カードのプレイリストなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行ってください。

4. [取り外し可能なディスク] (CF カードドライブ) をクリックする

5. [取り込み] もしくは [書き込み] をクリックする

CF カードからプレイリストなどのデータを取り込む場合は [取り込み]、設定したプレイリストなどのデータを CF カードに書き込む場合は [書き込み] をそれぞれクリックします。

6. [取り込み] もしくは [書き込み] の完了

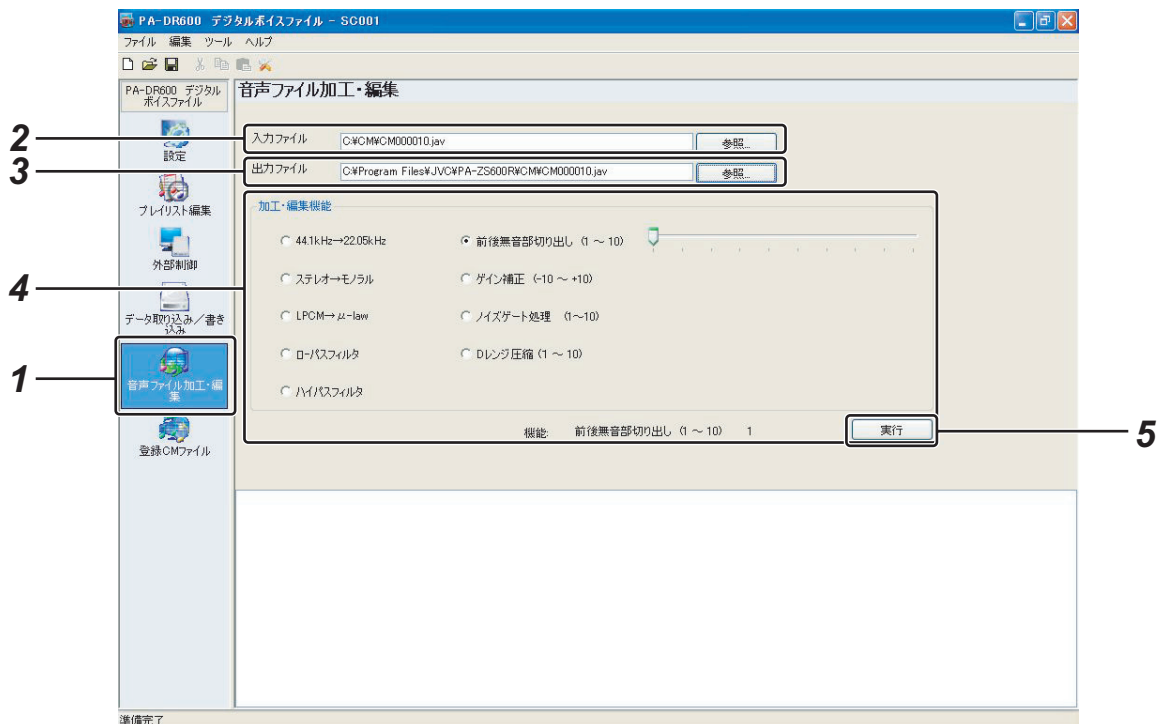
取り込みが完了するとメッセージウインドウに「インポートに成功しました。」と表示されます。

書き込みが完了するとメッセージウインドウに「エクスポートに成功しました。」と表示されます。

7. CF カードを CF カードライター / リーダーからはずし、PA-DR600 本体に挿入する

音声ファイルの加工・編集

PA-DR600 本体または PC で録音した音声ファイルを加工・編集することができます。



- 前後無音部切り出し、ゲイン補正、ノイズゲート処理、Dレンジ圧縮選択時はスライダーが表示されます

- ローパスフィルタ、ハイパスフィルタ選択時はプルダウンメニューが表示されます



1. [音声ファイル加工・編集] アイコンをクリックする
音声ファイル加工・編集画面が表示されます。

2. 「入力ファイル」に加工・編集するファイル名を指定する。
(.wav または .jav 形式のファイル)

メモ: _____

加工・編集できるのは下記形式のファイルです。

- 16bit/44.1kHzまたは 16bit/22.05kHzのWAV ファイル
- PA-DR600 本体で録音した音声ファイル
(ファイル名:CM00XXXXO.jav)

3. 「出力ファイル」に保存するファイル名を指定する。

4. 音声ファイルの加工方法を選択する。

- 44.1kHz → 22.05kHz
サンプリング周波数を 44.1kHz → 22.05kHz に変換する。

- ステレオ→モノラル
ステレオ音声モノラル音声に変換する。

- LPCM → μLaw

リニア PCM を μLaw 圧縮に変換する。

- 前後無音部切り出し

音声ファイル前後の無音部を切り取り（削除）します。
選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。

[設定値: 1 (無音部を削除するレベルが最も小さい) ~ 10 (無音部を削除するレベルが最も大きい)]

- ゲイン補正

音声のゲインを補正します。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。

[設定値: -10dB ~ +10dB]

メモ: _____

- ファイルの種類(*.wav または *.jav) は「入力ファイル」と同じになります。変更できません。

- ノイズゲート処理

音声の無音部をゼロに置き換えます。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。

[設定値： 1 (無音にするゲートが最も小さい)
～ 10 (無音にするゲートが最も大きい)]

- D レンジ圧縮

音声のダイナミックレンジを圧縮します。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。

[設定値： 1 (圧縮度が最も小さい)
～ 10 (圧縮度が最も大きい)]

- ローパスフィルタ

選択するとプルダウンメニューが表示されます。フィルタ周波数を選択してください。

[設定値： 2k、3k、4k、5k、6k、7k、8k、
10k、12k、16k]

- ハイパスフィルタ

選択するとプルダウンメニューが表示されます。フィルタ周波数を選択してください。

[設定値： 50、63、80、100、125、160、
200、250、315、400、500]

5. [実行] をクリックすると加工・編集を実行します。

メモ:

- 5の後、加工・編集が終了するまでの時間はパソコンの仕様、音声ファイルの長さによって変わります。

(参考)

約 180 秒の音声ファイルで Pentium4、2.4GHz の
パソコンでは約 1 秒

- 本体で録音した音声ファイルを加工・編集する場合は、本体の CF カードを取り外しパソコンに接続して CF カードライター / リーダーに挿入してからおこなってください。(p. 5 ページ)
本体の CF カードの音声ファイルはルートディレクトリの CM フォルダーに入っています。
-

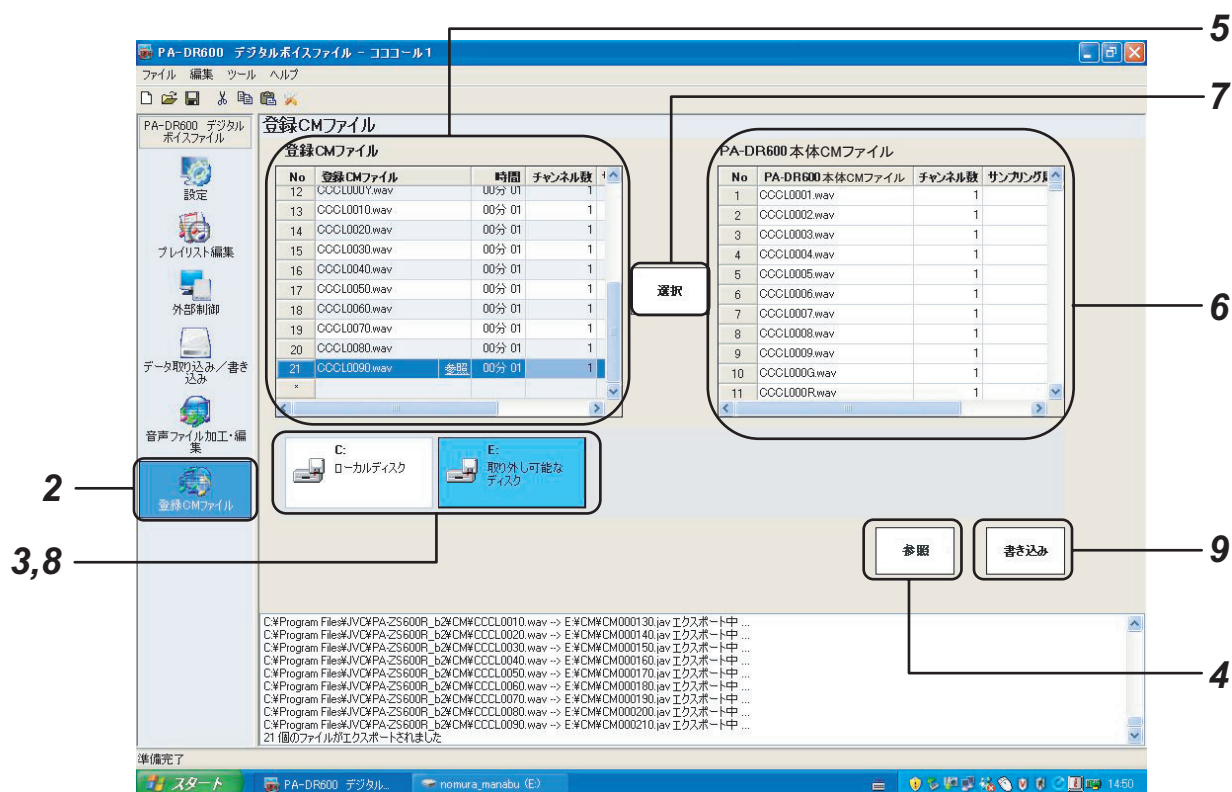
CM ファイルの登録

パソコンで作成した音声ファイルを追加する場合や、PA-DR600 本体で録音した音声ファイルをパソコンで加工・編集した場合など、音声ファイルの登録と CF カードへの書き込みをします。

1. [パソコンと CF カードライター / リーダーを接続し、CF カードを挿入する。] (5 ページ)

2. [登録 CM ファイル] アイコンをクリックする

登録 CM ファイル画面が表示されます。



3. 1で挿入した CF カードを選択します。

4. CM ファイルのリストを読み込む

「参照」をクリックすると「PA-DR600 本体 CM ファイル」に CF カード内の CM ファイルのリストが表示されます。

(ファイル名は「CM****」と表示されます)

メモ:

- 既に CM ファイルが登録されている CF カードに追加・上書きする場合は **3**、**4**をおこなってください。新規の場合は必要ありません。

5. 登録元 CM ファイルを選択する

「登録 CM ファイル」で、CM ファイル欄を選択します。
「参照」をクリックし、音声ファイルを選択します。

6. 登録先 CM ファイルを選択する

「PA-DR600 本体 CM ファイル」で CM 欄を選択します。

7. CM ファイルを登録する

「選択」をクリックし、登録先に CM ファイルを登録します。

(ファイル名は登録元と同じ表示がされます。)

8. 5～7を繰り返すすべての登録が終了した後、1で挿入した CF カードを選択します。

9. CF カードに書き込む

「書き込み」をクリックし、「PA-DR600 本体 CM ファイル」の内容を CF カードに書き込みます。

メモ:

- 8でローカルディスク等を選択するとパソコンに CM ファイルを保存することができます。このときは CF カードには書き込まれません。

で注意:

- 出力モード (12 ページ) の設定によって、対応している音声ファイルの形式が以下のようになっています。

サンプリング 周波数	チャンネル数	フォーマット	出力モード		
			1 元出力	2 元出力	1 元 4 出力
44.1kHz	1 (モノラル)	LPCM(16bit)	対応可能	対応不可能	対応可能
22.05kHz				対応可能	
44.1kHz		μ -Law(8bit)		対応不可能	
22.05kHz				対応可能	
22.05kHz	2 (ステレオ)	LPCM(16bit)	対応可能	対応不可能	対応不可能
22.05kHz		μ -Law(8bit)			

メモ:

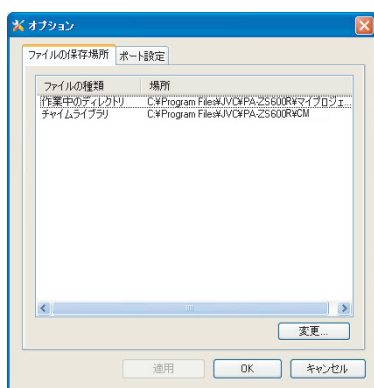
- 「PA-DR600 本体 CM ファイル」の内容を CF カードに書き込むときに、ファイル形式を *.jav に変更します。また、ファイル名を下記のように変更して書き込みます。
- PA-DR600 本体の LCD 画面には下記のように表示されます。(PA-DR600 取扱説明書 59 ページ)

No.	変更後ファイル名	PA-DR600 本体 LCD 画面表示
1	CM 000010.jav	F001
2	CM 000020.jav	F002
}	}	}
999	CM 009990.jav	F999

オプションの設定

オプションの設定は、ファイルの保存場所や通信ポートの設定を変更したい場合に行います。

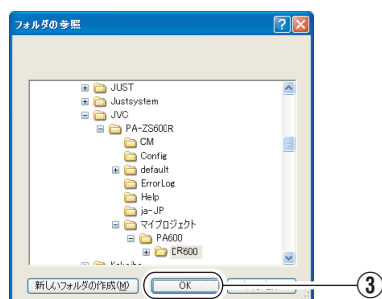
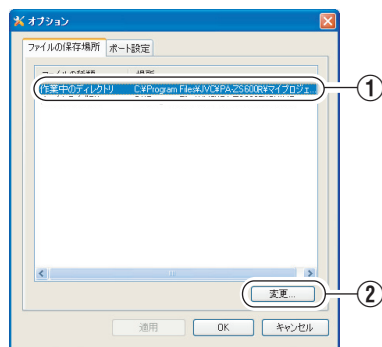
1.メニューバーの「ツール」から「オプション」を選択する
オプション画面が表示されます。



■ ファイルの保存場所設定

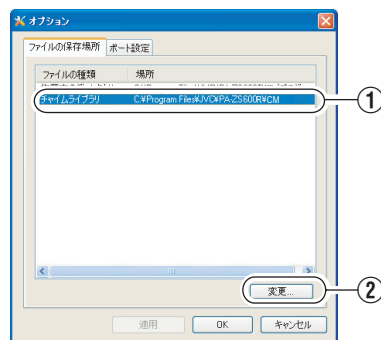
● 作業中のディレクトリ

- ① プロジェクトを保存するフォルダーを変更したい場合、[作業中のディレクトリ] を選択する。
- ② [変更] をクリックする。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックする。



● CM ライブラリ

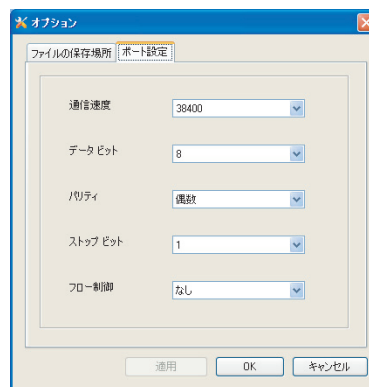
- ① 新規チャイムの登録作業に使用するフォルダーを変更したい場合、[CM ライブラリ] を選択する。
- ② [変更] をクリックする。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックする。



■ ポート設定

特に変更の必要がない場合、以下の値に設定してください。

通信速度 : 38400
データビット : 8
パリティ : 偶数
ストップビット : 1
フロー制御 : なし



パソコンによる PA-DR600 本体の制御

パソコンから、PA-DR600 本体を制御することができます。

外部制御中は、パソコンからの操作が優先されます。PA-DR600 本体のボタン操作はできません。

1. パソコンと PA-DR600 本体を USB ケーブルで接続する (p. 5 ページ)

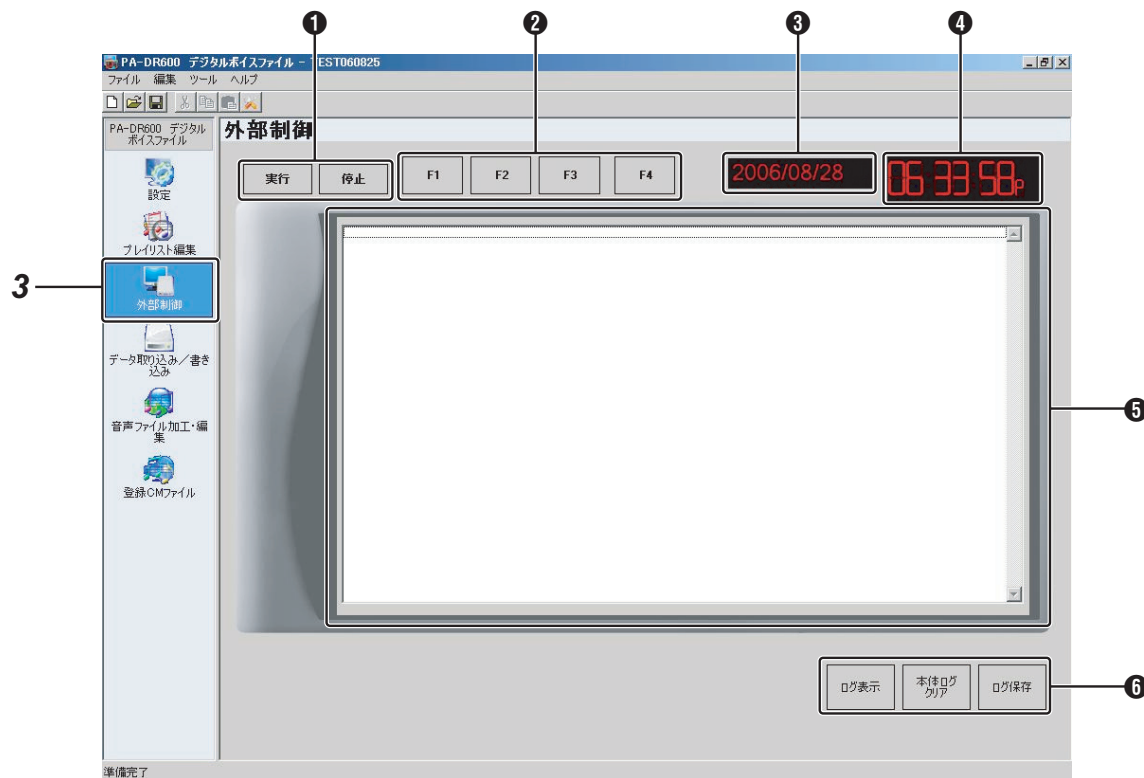
2. PA-DR600 本体の LCD 画面がメニュー画面でないことを確認する

ご注意:

- PA-DR600 本体の LCD 画面がメニュー画面を表示しているあいだは、パソコンとの通信はできません。

3. [外部制御] アイコンをクリックする

外部制御画面が表示されます。



① [実行 / 停止] ボタン

実行 : PA-DR600 を実行状態にする場合にクリックします。

停止 : PA-DR600 を停止状態にする場合にクリックします。

メモ:

- 停止ボタンをクリックすると、[機能] キー、[制御入力] 端子の動作も停止します。

② [F1 ~ F4] ボタン

クリックすると、それぞれのボタンに割り当てられた動作をします。“ 機能キー 1 ~ 4 ” (p. 13 ページ)

③ 日付表示部

現在の日付が表示されます。

④ 時刻表示部

現在時刻が表示されます。

右端の [A] [P] は、それぞれ、AM (午前)/PM (午後) を表します。

メモ:

- ③④ の日付と時刻はパソコン内蔵の時計情報を表示します。

パソコンによる PA-DR600 本体の制御（つづき）

⑤ エラーログ表示部

ログ表示ボタン **⑥** をクリックすると、動作エラーの全記録（ログ）が表示されます。



ご注意:

- 表示できるエラーログは最大 100 件です。100 件を超えると、一番古いログ（**⑦** 表示ログ番号 = 001）から消去されます。

⑥ ログ操作ボタン

ログ表示 : 動作のエラーログが、エラーログ表示部 **⑤** に表示されます。

本体ログクリア : すべてのログが消去されます。

ログ保存 : ログをテキストファイルに保存する場合にクリックします。[名前を付けて保存] 画面が表示されますので、保存場所を選択し、名前をつけて保存してください。

メモ:

- ログ内容の詳細については、エラーログパターン表と PA-DR600 本体の取扱説明書をご覧ください。
(※ PA-DR600 取扱説明書 87 ページ「エラーログパターン表」)
- 不明な点は販売店または、サービス窓口にお問い合わせください。

エラーログパターン表

PA-ZS600R ログ表示	PA-ZS600R ログ表示		エラー内容	対応
	エラー 番号	パラメーター		
SRAM 異常	E001		ハードエラー	①
CPLD 異常	E002			
FPGA 異常	E003			
CF カード途中で抜かれた	E004	F0	本機の動作中にメモリーカードを抜いた	②
設定ファイル読み込み時のエラー	E005	F1	設定データの読み込みエラー	③
		F2		
		F0		
設定ファイル書き込み時のエラー	E006	F0	設定データの書き込みエラー	③
		F1		
		F2		
CF カード起動時に未実装	E033		起動時に、メモリーカードが本機に挿入されていない	②
ハートビート切断	E036	PC0048	PC 通信時エラー	④
YMODEM 強制終了発生		PC4192		
JCCP 送信失敗		PC0001		
JCCP 受信タイムアップ		PC0003		
YMODEM 中断		PC4097		
SEQ 異常発生		PC4098		
YMODEM 中断 PC-> 本体 ファイル受信失敗		PC4098		
YMODEM 中断 本体->PC ファイル送信失敗		PC4099		
拡張モード 受信タイムアウト発生		PC5000		
拡張モード チェックサム異常		PC5001		
拡張モード 受信データ異常		PC5002	拡張モード、通信エラー	
CM 楽曲なしエラー < 曲番号 >	E037	サイセイ < 曲番号 >	ファイル再生エラー	②
CM 楽曲オープンエラー	E038	サイセイ < 曲番号 >		
CM 楽曲重複再生エラー < 曲番号 >	E039	サイセイ < 曲番号 >		
< 曲番号 > CM ファイルのアクセスエラーです。	E040	サイセイ < 曲番号 >		
CM 楽曲パラメータ異常	E041	サイセイ < 曲番号 >		
録音エラー < 曲番号 >	E050	ロクオン < 曲番号 >	録音エラー	③
消去エラー < 曲番号 >	E051	ショウキョ < 曲番号 >	消去エラー	③

メモ:

- 「対応」に記載されている番号の詳細は下記のとおりです。

①：販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

②：メモリーカードを正しく挿入してください。

③：メモリーカードに異常がある可能性があります。正常なデータが保存されているか確認してください。指定のメモリーカードを使用していない場合は、指定のメモリーカードを使用してください。

④：通信用ケーブルの接続、接続した外部機器に異常がないかを確認してください。

- ①、②、③ の対応を行っても、再度エラーが発生する場合は、販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

プレイリストプレイヤーについて

PA-DR600 本体や PA-ZS600R で編集したプレイリストは、アプリケーション「プレイリストプレイヤー」を使用して、パソコンで音声を再生することができます。

プレイリストプレイヤーのインストール

1. ダウンロードしたファイルを任意のフォルダーに解凍する。
2. 解凍してできたフォルダーにある「プレイリストプレイヤー」フォルダーを任意の場所にコピーする。

ご注意:

- 「プレイリストプレイヤー」フォルダーの内容はすべてコピーしてください。必要なファイルがすべて含まれています。

プレイリストプレイヤーの使用方法

- 「プレイリストプレイヤー」フォルダーの中の「playlistplayer.exe」をダブルクリックで実行してください。
- 詳しい使用法は「プレイリストプレイヤー」フォルダーの中の「プレイリストプレイヤー操作説明書.pdf」をお読みください。

こんなときは

症状	原因と対策					
パソコンにアプリケーションがインストールできない	パソコンの動作環境を確認してください。(P. 5 ページ)					
アプリケーションが起動しない	パソコンの動作環境を確認してください。(P. 5 ページ) 動作環境に問題がない場合は、必要なファイルが削除、もしくは破損している可能性があります。再インストールしてください。(P. 6 ページ)					
通信異常がでる	● USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 PA-DR600 本体の LCD がメニュー画面でないことを確認してください。					
CM ファイル（ボイスファイル）が登録できない	● CM ファイル（ボイスファイル）のフォーマットを確認下さい。PA-DR600 で対応可能なフォーマットは下記の通りです。					
	サンプリング 周波数	チャンネル 数	信号処理方式 ビット数	1 元出力	2 元出力	1 元 4 出力
	44.1kHz	1 (モノラル)	LPCM(16bit)	対応可能	対応不可能	対応可能
	22.05kHz		μ-Law(8bit)		対応可能	
	44.1kHz				対応不可能	
	22.05kHz				対応可能	
	22.05kHz	2 (ステレオ)	LPCM(16bit)	対応可能	対応不可能	対応不可能
	22.05kHz		μ-Law(8bit)			

■ エラー、ワーニングダイアログ一覧

表示内容	原因と対策	関連項目
新規プロジェクトと作業ファイルが作成できません。	① プロジェクトファイルを新規作成するデバイスに空き容量が足りません、空き容量が十分にあるデバイスに変更してください。 ② プロジェクト名に使用できない名前（文字）を利用しています、使用できる文字でプロジェクト名を入れなおしてください。	プロジェクトを作成する (P. 8 ページ)
既に同名のプロジェクトが存在するため、その名前のプロジェクトを作成できません。	別の名前でプロジェクトを作成してください。	プロジェクトを作成する (P. 8 ページ)
PA-DR600 デバイスが見つかりませんでした。	① 本体の電源が入っていません、本体の電源を入れてください。 ② USB ケーブル接続がされていません、接続を確認してください。	電源を入れる (P. PA-DR600 取扱説明書 9 ページ) システム接続 (P. 5 ページ)
本体メンテナンス中のため、外部制御を実行できません。	本体がメンテナンスモード（メニュー画面の表示中）になっています。待機状態または実行状態にしてください。	メニュー画面の構成 (P. PA-DR600 取扱説明書 28 ページ)
失敗：デバイスとの通信に失敗しました。	本体実行中、メンテナンスモード中（メニュー画面の表示中）は書き込みできません。待機状態にしてください。	メニュー画面の構成 (P. PA-DR600 取扱説明書 28 ページ)
失敗：アップロードが許可されません。	本体実行中、メンテナンスモード中（メニュー画面の表示中）は書き込みできません。待機状態にしてください。	メニュー画面の構成 (P. PA-DR600 取扱説明書 28 ページ)
加工・編集できないフォーマットです。ファイルフォーマットを確認して下さい。	PA-DR600 で扱えないデータフォーマットです。	音声ファイルの加工・編集 (P. 18 ページ)
選択したドライブを参照できませんでした。	① ディスクがありません、ディスクまたは CF カードを確認してください。 ② CM フォルダのないドライブを接続しています、ディスクまたは CF カードを確認してください。	
選択したドライブにエクスポートできませんでした。	① ディスクがありません、ディスクまたは CF カードを確認してください。 ② ディスクが書き込み禁止状態になっています、ディスクを確認してください。	
{ファイル名} ファイルの情報が読み込めません	PA-DR600 で扱えないデータフォーマットです。	音声ファイルの加工・編集 (P. 18 ページ)

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12